



ちからこぶ

福祉通信「ちからこぶ」2009年2月号 下田 とき子 書



☆ほのほのランチ☆

【対象者】

- 1) 介護保険サービス利用の方
- 2) 65歳以上の要援護高齢者
- 3) 一人暮らし高齢者又は高齢者世帯

【申込み】

町地域包括支援センター

電話 33-8411

有線 4333

又は、民生児童委員さんへ

町長との配食交流会

1月22日(木)に「ほのほのランチ」のボランティアさんが町長と社協会長、民生児童委員会長をお迎えし、意見交換会を開催し、日頃のボランティア活動を知っていただき、ボランティアの思いや要望等をざつばらんに話していただきました。調理ボランティアさんからは、「当初より弁当利用者数が減少してしまい、作るのに淋しい。でもボランティア同志の情報交換ができるから楽しみにきている。」、「もっと大勢の方に利用してほしい。」との意見。配達ボランティアさんからは「ご利用になっている方の笑顔を見るのが嬉しい。」と意見がありました。実際、利用されている方が「リンゴがうさぎの形になっていてカワイイよ。」「美味しくいただけてます。」と好評価をいただいております。ボランティアさんは「これからも喜んでいただけるように、より腕をふるって頑張りたい。」と話されました。

この人に注目

下田とき子さん



◇町民の皆さんに一言◇
若い方のボランティア参加をお願い致します！

今回の表題を書いてくださったのは、ほのほのグループ代表の下田とき子さん。

下田さんは毎週木曜日、配食サービス事業として「ほのほのランチ」の調理・配達ボランティアにご協力をいただいています。もともと料理が好きで、以前は町食生活改善推進協議会の会員だったとの事。会を辞められてからも、自分の好きな事を生かそうと、ボランティア登録をしてほのほのランチをお手伝いする事になったそうです。

「週に一度、ほのほのグループのメンバーと会い、一緒に活動し、活動の中でメンバーと話しができる事がとても楽しい。家にいればやる事もたくさんあるが、こうやって活動する事が、日常生活の中で楽しみの1つになっています」との事です。これからも、お元気でほのほのランチを支えて行って欲しいです。

*福祉通信「ちからこぶ」は、再生紙を使用しています。

